

多種多彩なメンバーで地域の景観を次世代に

～ 龍田古道景観保全プロジェクト（三郷町）～

龍田古道の田園風景を残したい

三郷町は奈良県北西部に位置し、電車に乗ると30分ほどで大阪市内に到着できる利便性の良さから、1970年代以降、急速に宅地開発が進みました。

宅地開発に伴い、町内の農地も急速に減少したため、「万葉集」にも登場する由緒ある道である龍田古道沿いにあった美しい田園風景も大きく変わりました。

この美しい景観を残そうと結成された龍田古道景観保全プロジェクトは、龍田古道を愛する兼業農家や写真家、カフェオーナーなど様々な経歴を持つ10名の有志で2023年9月に結成され、町内にある1枚の龍田古道沿いの水田での水稻栽培からスタートしました。



龍田古道沿いの田園風景

メンバーの経歴を活かし、様々なイベントを開催

プロジェクトでは、地域住民にも水稻栽培を通して龍田古道に関心を持ってもらうため、様々なイベントを開催していますが、田植えや稲刈りのような体験型のイベントのほかにも、緑肥として植えた蓮華が満開になる時期には、水田をステージにした大和ハーブの演奏会といった水田の景観を利用したユニークなイベントも開催しています。多種多彩なメンバーがいるからこそ生まれる新しい発想で、地域住民に龍田古道沿いの水田が作り出す景観に関心を持ってもらうことに繋げています。



蓮華テラスカフェの様子

龍田古道景観保全プロジェクト

プロジェクトによる龍田古道沿いの田園風景の維持

町内で生産したお米のブランド化、加工品開発

町内の水稻栽培を継続できる環境を生み出し、美しい田園風景を後世に残す

農業を続けたい人の手助けに

プロジェクトで生産したお米（ヒノヒカリ）は「風乃田園 龍ひかり」とブランド化し販売することで、地域住民のプロジェクトに対する関心も大きくなってきており、2025年には、町内にある休耕田で耕作の依頼があり、農業経験者のメンバーが別団体を立ち上げ、水稻を栽培しました。

今後は、龍田古道の田園風景を維持するために、イベントの開催のほか、町内で生産されたお米の買取、加工品開発などで町内の稲作農家を手助けし、水稻栽培を継続できる環境を作っていきたいと考えており、非農家を含めて多種多彩なメンバーが集まったプロジェクトが持つ可能性に地域から期待が集まります。



風乃田園 龍ひかり



収穫祭での集合写真

【問合せ先】 龍田古道景観保全プロジェクト

龍田古道景観保全プロジェクト・Instagram

https://www.instagram.com/tatsutakodo_kh_pj/ (外部リンク)